

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

## 教育旅行と民泊のコーディネーター

＼ 私もお手伝いしています ＼  
**NPO が運営するゲストハウス**  
**「門前 House」**

笠間観光協会ビル内3階  
<https://monzen-house.com>



門前 House



さくま りか  
**佐久間 理香 隊員 (61歳)**  
 東京都江戸川区より移住



協力隊ラストイヤーを迎えました。退任後の笠間での活動に向けて準備を進めています。

昨年7月に開業した家主居住型民泊「であいふれあい」の宿「ま蔵」を国内外に知ってもらうために、「農泊総合プラットフォーム「ファームステイジャパン」に登録しました。これは私個人ではなく、笠間ふれあい体験旅行推進協議会が中心となり民泊仲間の皆さんにお声掛けして始めました。

ファームステイは、都市部では味わえない農業体験や料理、笠間ならではの陶芸体験など、地域の人々とのふれあいを通じたさまざまな体験により、地域に溶け込んだ滞在を目的としています。

「くま蔵」の登録にあたり敷地内の蔵をリフォームし、宿泊だけでなく休憩スペースとしても利用できるようにしました。野菜の収穫など外での作業中、ちよっと休憩してお茶を飲み、BBQなどアウトドアでの食事もできるような場所に改装しました。家主居住型民泊「くま蔵」をふれあ体験旅行のホームステイの宿泊だけでなく、

く、ファームステイ希望の個人・グループにも利用してもらえよう準備をしています。

また体験は、近所で有機農園を始めた地域おこし協力隊OB高山さんの「トモツナグ有機農園」にも協力いただいています。さっそく2月に、有機栽培には欠かせない「ふみこみ温床」作りに市内の学童の皆さんとお手伝いに行ってきました。お手伝いのあとは、畑で焼きそばと焼き芋をいただきます。子どもたちは大人顔負けの食べっぷり！たくさん働いた後はお腹がすきますね(^^)

NPO法人笠間の魅力発信隊として活動中の「笠間ふれあい体験旅行」は、開始から10年が過ぎました。今年度はさらに申し込みが増えました。

国内外の小学生から大人まで、日帰り民家体験やホームステイの受け入れに協力していただける民家さんを募集中です。気軽にお問い合わせください。

### ○笠間ふれあい体験旅行受け入れ予定 (4月～7月)

- ・4月 台湾高校生ホームステイ2校62名
- ・5月 浦安市中学校日帰り民家体験 1校87名
- 台湾高校生ホームステイ3校86名
- ・6月 台湾高校生ホームステイ1校60名

NPO法人笠間の魅力発信隊  
 TEL 050-0154-741-2695  
 ✉ hxxkbt005@yahoo.co.jp

最後に笠間の歴史や観光の勉強のためガイドの仕事も修行中です。

2月8日、大寒波の影響で真っ白な雪景色のなか、「かさましこ日本遺産ツアー」をガイドしました。ガイドした場所は何度か経験のある笠間稲荷神社でしたが、毎回事前準備で調べるたびに新しい発見があり、楽しみながら学んでいます。まだまだ私のガイド修行は続きます！



フェイスブックもご覧ください

問 企業誘致・移住推進課(内線592)